

研究所だより

第2回教育研究所運営委員会が終わりました!

2月14日(水)、第2回運営委員会を開催しました。13名の運営委員の皆さんにご出席いただき、今年度の運営や次年度の業務について、協議いただきました。

始めに、稚内市教育委員会 佐伯達也教育長より挨拶がありました。冒頭、給食センターの所員からノロウイルスが検出され、給食の提供が一定期間停止されることへのお詫びがあり、続いて、日頃より教育研究所の運営にご協力いただいていることへの感謝、年間を通して様々な研修の企画や研究内容を市内の先生方に還元している研究所の運営についてのお礼がありました。また、来年度の教育政策の概要(AIドリル・デジタル教科書・校務運営システムの導入、縮小して行くグングン塾等)についても説明がありました。

次に、運営委員会委員長である工藤真校長(校長会代表)を議長に選出し、議事を進行していただきました。業務報告と協議の概要は次の通りです。



1. 業務報告の概要

① 所員研究について

1つ目は**タブレットの活用状況調査**を1学期に実施。短期間の取組であったが、所員の先生方に自校で周知・集約していただき、分析を所員会議で行うなどして、調査結果をまとめた。AIドリル・授業支援アプリ・校務支援システムの導入という管理職・先生方の総意、ICT講座実施の要望を取り組みに反映させることができ、大変有意義であった。

2つめは**国語と算数の「指導用語・内容一覧の作成」**に取り組んでいる。国語は潮見が丘小学校から提供いただいた系統一覧をベースにして作成しているところである。

② 研修講座について

外部講師、市内の管理職や先生方に講師としてご協力いただいた。特に、ICT教育やICT活用に積極的に取り組まれている先生方を講師に講座を複数回実施することができ、「活用状況調査」で明らかになったニーズに応えることができた。

参加できなかった先生方にも見ていただけるよう、研究所クラスルームに英語教育やデジタル教科書講座の動画や資料を掲載した。

また、稚内市教育研究会及び教科部会とも連携をさせていただき、部会日に合わせて講座や研修を実施するなど新たな開催方法を試みた。

③ 運営について

【所員の負担軽減】

所員の皆様には、多忙な中で、所員研究の推進にご尽力いただいた。教職員数が減少してきており、所員選出の負担をおかけしているが、ICT活用状況調査では10校から選出いただいているメリットを実感した。次年度についても、所員の選出は本年度同様に行い、回数の削減、研究内容の早めの提示などで所員の先生方の負担軽減を図りたい。

【運営委員会規定の見直し】

稚教研には複式部会と併せて運営委員を4名選出いただいている。各1~2名の選出し、稚教研として2~4名の選出と幅をもたせるように規定の変更を行う。支障がなければ、令和7年度は「各1名」に変更する。

現行) 稚内市教育研究会(会長・事務局長) 2名 → 新) 1~2名

稚内市教育研究会複式部会(会長・事務局長) 2名 → 新) 1~2名

運営委員数 15名 → 13~15名

2. 協議の概要

- * 稚内市タブレット活用状況調査の継続や児童生徒の情報活用能力等に関する調査の是非に関わって
- 継続的な調査は必要であるが、同じことを何回もやるのは効率的ではないので、国で行っている調査等を活用していく事がいいのではないかと。
- 活用状況調査と児童生徒の情報活用能力の調査は、セットになっていなければ意味がない。ICTを活用したことで児童生徒にどのような力がついたのかを読み取ることが大切。

アンケート調査は令和3年度、そして今年度実施しました。継続的に調査をすることで、「ICT環境の整備やICT研修講座などへの要望を把握して反映させること」や「ICTの活用状況を把握するとともに実践事例収集・発信につなげ、ICT教育の推進に寄与すること」などを想定していました。ご意見の通り、ICT教育の主な目的は情報活用能力を育成することですから、「どのような力が児童生徒についたのか」状況を把握するのは大変大事なことだと考えます。「ねらい、実施年度・時期、項目、方法」等々、頂いたご意見を踏まえて計画を立案していくことを次年度以降の課題とします。

* 来年度の研修講座の開催に関わって(要望等)

- C4th(校務支援システム)については、業者が学校に来て、説明・講習会をしてくれるが、その後はどうしても学校の担当者任せになってしまうので、そうならないような研修体制も必要。
- AIドリル、ロイロノートが新しく導入されるが、使用の仕方はもちろんだが、効果的な使い方など実践面での交流がされる場があればいい。

要望に応えられるような研修講座を企画したいと思います。

(今年度同様、講師としてご協力いただくことがあるかと思います。ご協力の程、宜しく願い致します。)

* 研究所員の負担軽減と運営委員の人数に関わって

- 今日の会議に参加して発言しようと思っていたことが、研究所の方から提案された。所員の背中を押して送り出したいが、学校事情によって苦しい場面もあり、回数の削減についてはありがたい。また、どの人が所員になっても、勉強になったと思えるような研究内容の選定をお願いしたい。
- 現在の運営委員会の回数で言えば、稚教研から2名出すことに負担はないが、幅を持たせてくれるのはありがたい。

運営委員の皆様には教育研究所の運営について、貴重なご意見・ご示唆を賜りました。改めましてお礼申し上げます。



宗谷管内の町村はどのようなタブレット端末やシステム等を利用しているのか調べてみました!!

	端末	学習eポータル	授業支援アプリ	校務支援システム	AIドリル
稚内	Chromebook	エルゲート	ロイロノート・スクール	EDUCOM マネージャー C4th *市街地校のみ	検討中
豊富	iPad	キュビナ	google workspace for Education	C4th	キュビナ
幌延	Chromebook	まなびポケット	ミライシード	C4th	ミライシード(ドリルパーク) 4年以上
猿払	iPad	キュビナ	google	スプレッドシート等活用	キュビナ
浜頓別	Chromebook	まなびポケット	R6~まなびポケット(これまでミライシード)	C4th	検討中
中頓別	Windows(Lenovo)	まなびポケット	Teams、SKYMENU	C4th	イーボード
枝幸	iPad	まなびポケット		なし	eライブラリ
利尻	小 iPad 中 Windows	まなびポケット	google	C4th	eライブラリ
利尻富士	Chromebook	キュビナ	google	C4th	キュビナ
礼文	Windows(Surface)	キュビナ	SKYMENU	SKYMENU	キュビナ